



ハトダヨ
2019年
12月号

函
館
市
中
央
図
書
館

編集・発行 函館市中央図書館 指定管理者 TRC 函館グループ

〒040-0001 北海道函館市五稜郭町 26 番 1 号

TEL (0138) 35-5500 FAX (0138) 35-5525

市中央図書館だより

第44号 令和元年12月1日 発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんにご存知でしょうか。
ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。
ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼令和元年11月1日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／



希望の糸

東野 圭吾／著

11 クジラアタマの王様

伊坂 幸太郎／著

2 平場の月

朝倉 かすみ／著

12 蜜蜂と遠雷

恩田 陸／著

3 むらさきのスカートの女

今村 夏子／著

13 とめどなく囁く

桐野 夏生／著

4 さよならの儀式

宮部 みゆき／著

14 ノーサイド・ゲーム

池井戸 潤／著

5 落日

湊 かなえ／[著]

15 炎天夢

今野 敏／[著]

6 そして、バトンは渡された

瀬尾 まいこ／著

16 美しき愚かものたちのタブロー

原田 マハ／著

7 百花

川村 元気／著

17 マジカルグランマ

柚木 麻子／著

8 我らが少女 A

高村 薫／著

18 いけない

道尾 秀介／著

9 罪の轍

奥田 英朗／著

19 一切なりゆき

樹木 希林／著

10 つみびと

山田 詠美／著

20 検事の信義

柚月 裕子／著

おはなし会と工作

楽しいおはなしと、クリスマスの飾り作り！

10:00~11:30 (事前受付)

12/6 受付開始・20名

会場：大研修室

12/21 sat.

光る影絵上映会

毎年大好評！大谷短大の皆さんによる光る影絵上映会！

14:00~14:50(開場 13:30)

当日受付・先着 150名

会場：視聴覚ホール

12/22 sun.

クリスマス上映会

午前の部 10:00~11:26

ムーミン谷とウィンターワンダーランド

午後の部 14:00~16:10

素晴らしき哉、人生！（日本語字幕）

図書館 de Xmas



15

※詳しくは館内チラシ・ポスターをご覧ください

ハトダヨにしか
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

タイトル：「**翻訳できない 世界のことば**」

棚：A22～A24
請求記号：804 ャ

著者：エラ・フランシス・サンダース 出版社：創元社（2016年4月）

イタリア語で、“涙ぐむような物語にふれたとき、感動して胸が熱くなること”を「コンムオーベレ」と言うそうです。ウルドゥー語で「ゴーヤー」とは“素晴らしい話を聞いてその物語の中に自分があるような気持ちになること”だそう。この本は、そんなその国では当たり前のように使われているけれども、他の言語に訳すときに一言では言い表せないような“翻訳できない言葉”を、著者の感性豊かな文章と可愛らしいイラストでまとめた本です。

こんな言葉があるんだなと笑えるものもあれば、その言葉の背景を深く考えてしまうものもあり、1ページ1ページじっくりと味わいたくなる一冊です。

タイトル：「**よるくま クリスマスのまえのよる**」

棚：J3～J6
請求記号：E ヲ

著者：酒井 駒子 出版社：白泉社（2000年10月）

「わるいこにはサンタさん来ないかもしれないよ。」

クリスマスが近づくとつい子供に言ってしまうセリフです。この絵本の主人公「ぼく」もママにたくさん叱られたからサンタさんがこないかもしれないと心配して眠れない男の子。そんな時よるくまが遊びにきて男の子と触れ合う物語です。ラストでは親子の愛情に切なくなります。クリスマスの温かくて幸せな雰囲気を感じられる絵本です。

タイトル：「**ないもの、あります**」

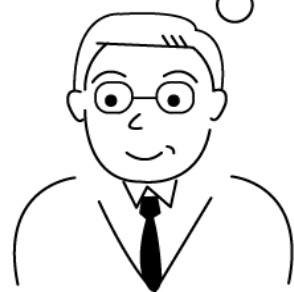
棚：閉架2
請求記号：914.6 ㇿ

著：クラフト・エヴィング商会 出版社：筑摩書房（2001.12）

「堪忍袋の緒」、「左うちわ」、「舌鼓」・・・よく耳にするけど一度も見たことがないものを、古今東西から取り寄せてくれる商会の風刺のきいた商品カタログ風の本です。商品のイラスト付きなので、イメージがわきやすく、まるで本当にあるかのような錯覚に陥るかも？

クラフト・エヴィング商会とは、作家である吉田篤弘さんと吉田浩美さんによる制作ユニットで、テキストとイメージを組み合わせた、独創的な作品を発表しています。皆さんもぜひ、お目当ての商品を見つけてください。ただし、取り扱いには要注意！

館長随想（四十四）



「ハトダヨ」十月号の館長随想で書きましたが、現在千葉県野田市郷土博物館では特別展「郷土史のまなざし」博物館誕生のものがたり〜が開催されています。私は十一月十三日野田市を訪れました。展覧会で函館の図書館がどのように取り上げられているか楽しみでした。

野田には秋葉原で「つくばエクスプレス」に乗り「流山おおたかのもり」で東武野田線に乗り換え「野田市」で降ります。駅から歩いて七、八分で博物館です。博物館としては小型ですが、昭和を代表する建築家の一人、日本武道館、京都タワーなどを手掛けた山田守の設計による六十年の風格がある建物です。

博物館開設の大きな功績のあった佐藤眞を中心に据えた特別展ですが、佐藤が司書として駆け出しの二十代から三十代を過ごした函館の町、上司として佐藤に大きな影響を与えた当時の図書館長岡田健蔵についての展示が半分近くを占めています。函館の古地図など今回の特別展のためにいくつか買ったそうですが、多くの資料は当館と市立函館博物館からの貸出です。中には佐藤眞が持っていた函館に関する資料で博物館に寄贈されたものもありました。

函館で主任司書だった佐藤は、図書館主任という立場で、昭和十八年野田へ行きました。私は同じような立場と思っていましたが、興風会という財団法人による私立図書館だった興風会図書館では、興風会の中の図書館の責任者で実質館長だったそうです。佐藤は、野田でも函館の図書館と同じように郷土資料を大切に、博物館の創設に力を尽くしました。岡田健蔵がまいた種は遠く千葉の地でも実ったのです。

この特別展は、令和二年一月二十日（月）まで、野田市郷土博物館で開催されています。

デジタル資料館 紹介



新板／箱館道中名所寿語六（1810662781）

江戸から箱館に至る道中双六です。デジタル資料館でご覧いただけます。

道中双六に興味がある方には、2階参考図書E6の棚にある「幕末・明治の絵双六」（R721.8 ハク）もおすすめてです。

図書館でクリスマス

★ クリスマス展示 ★

中央図書館・地区図書室でクリスマステーマにいろいろな本を集めて展示。サンタさんやトナカイたち、さらに日本から世界まで、たくさんのクリスマスが図書館で待っています！

★ クリスマス上映会 ★

クリスマスは特別な日。12月22日(日)は、10時から「こども向け」、14時から「大人向け」のクリスマス上映会を行います。こども向け上映会では、サンタさんが現れるかも！？上映内容については、ホームページ、またはチラシをご覧ください。

★ お話会と工作会 ★

クリスマスの読み聞かせ会や工作会。今年はどうなお話かな？そして工作は何を作るのかな？中央図書館のほか、地区図書室でもやってるよ。申し込みが必要なイベントもありま。詳しくはホームページやチラシ、図書館までお問合せください。

図書館では、本だけではなく、クリスマス音楽のCDも借りられるんだよ。寒い冬も、本を読めば、心がぽかぽか。図書館で待ってるよ。

楽しみ～♪

